

# 2021年12月期第2四半期 決算説明会

---



静岡ガス株式会社

TSE:9543

2021年8月6日

I.	第2四半期決算の概要	… 3
II.	年間の見通し	… 7
III.	静岡ガスグループ 2050年カーボンニュートラルビジョン	… 11
IV.	トピックス	… 17

---

注意	
----	--

- 本情報は、2021年8月6日現在の将来に関する前提、見通し、計画に基づく予測が含まれています。
  - 経済・競合状況等にかかわるリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。
-

# I. 第2四半期決算の概要

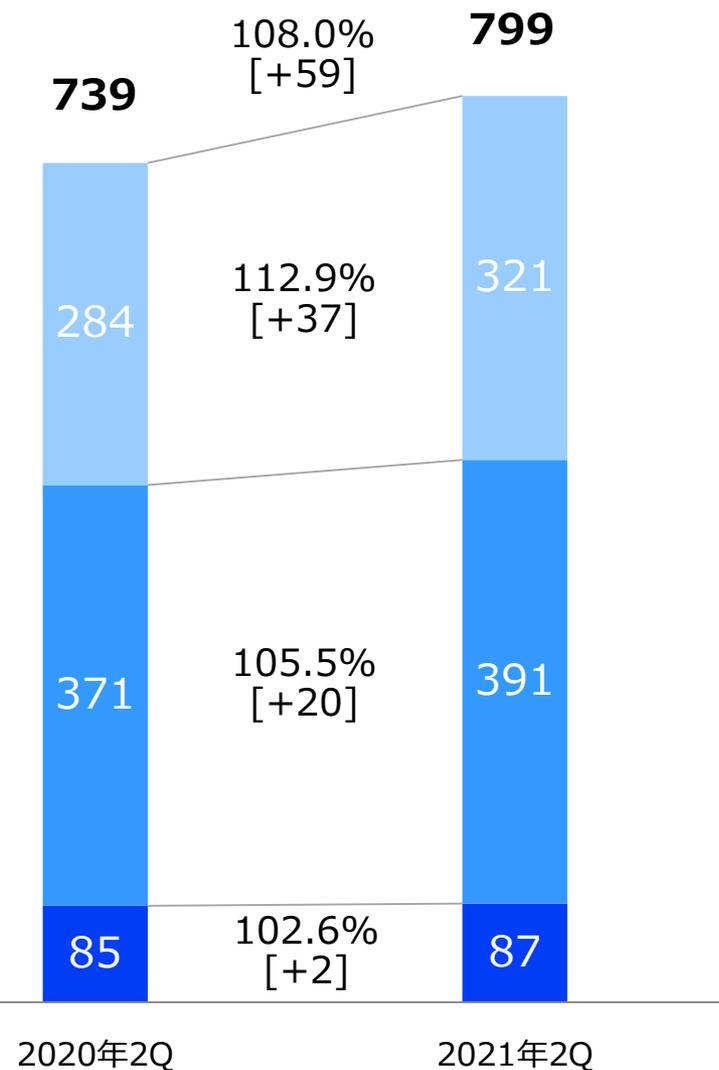
---

## ◎ 2021年2Q決算：減収増益

- ガス販売量は8.0%増加  
→卸売・大口は既存のお客さまの稼働増加、小口は業務用の稼働増加による
- 売上高はガス販売単価の下方調整により6.3%減少  
営業利益は原材料費の減少や、前年同期に配船調整引当金を計上したこと等により97.3%増加

	2020年2Q	2021年2Q	増減	前期比 (%)
● <b>ガス販売量</b> 個別 (百万m <sup>3</sup> ,45MJ)	739	<b>799</b>	+59	108.0
卸売	284	<b>321</b>	+37	112.9
大口	371	<b>391</b>	+20	105.5
小口	85	<b>87</b>	+2	102.6
● <b>売上高</b> (億円)	666	<b>624</b>	△41	93.7
● <b>営業利益</b> 【タイムラグ補正後】 (億円)	33	<b>83</b>	+50	253.2
営業利益 (億円)	27	<b>55</b>	+27	197.3
スライドタイムラグ	△5	△ <b>28</b>	△23	—

# ガス販売量実績 個別



単位：百万m<sup>3</sup>(45MJ)  
 \* [ ]内は、販売量増減（百万m<sup>3</sup>）を表示  
 \*百万m<sup>3</sup>未満四捨五入

**卸売** ・ 卸先の販売量増 [+37]

**大口** ・ 2020年新規お客さまの通年稼働 [+1]  
 ・ 既存のお客さまの販売量増 [+19]

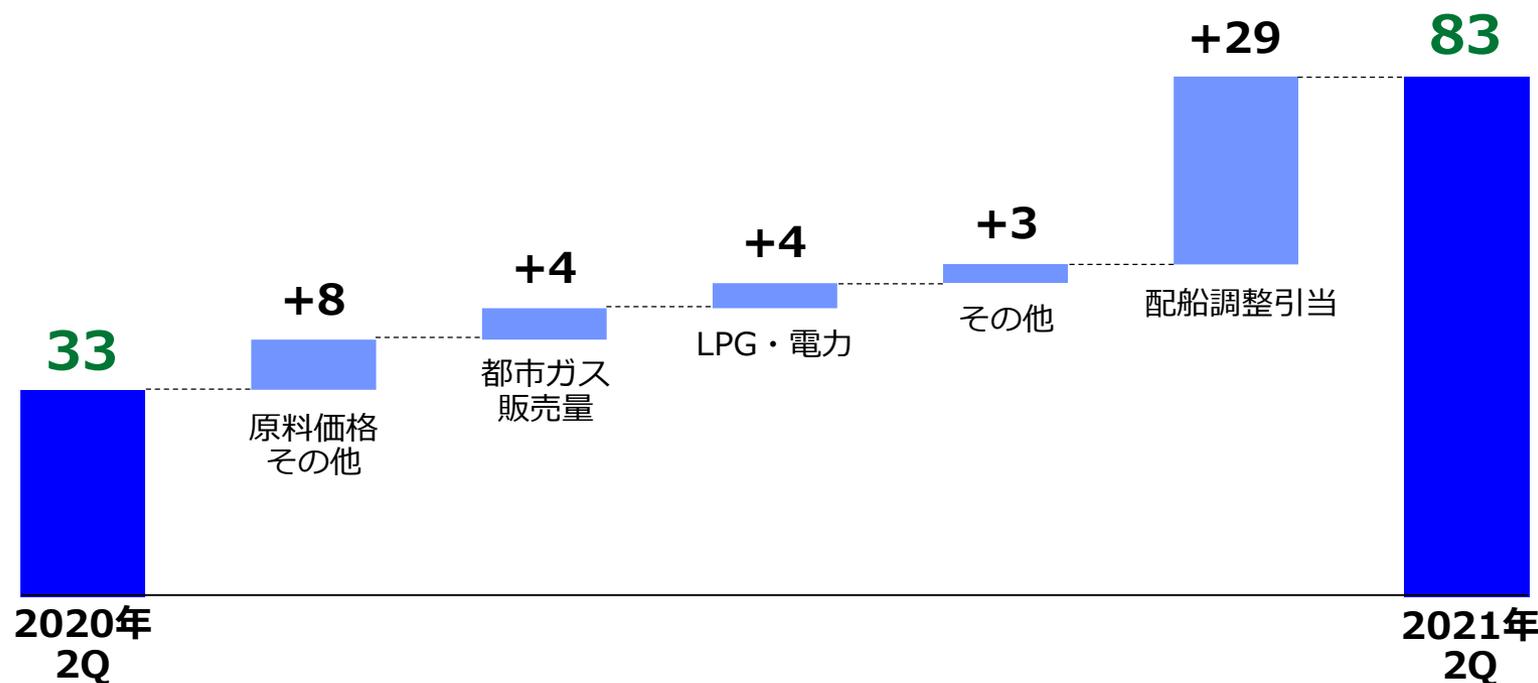
**小口** ・ 業務用の販売量増 [+2]

# 営業利益の分析（対2020年2Q）



単位：億円  
\*億円未満切捨て

	2020年2Q	2021年2Q	増減
<b>補正後営業利益</b>	<b>33</b>	<b>83</b>	<b>+50</b>
営業利益	27	55	+27
スライドタイムラグ	△5	△28	△23



## Ⅱ. 年間の見通し

---

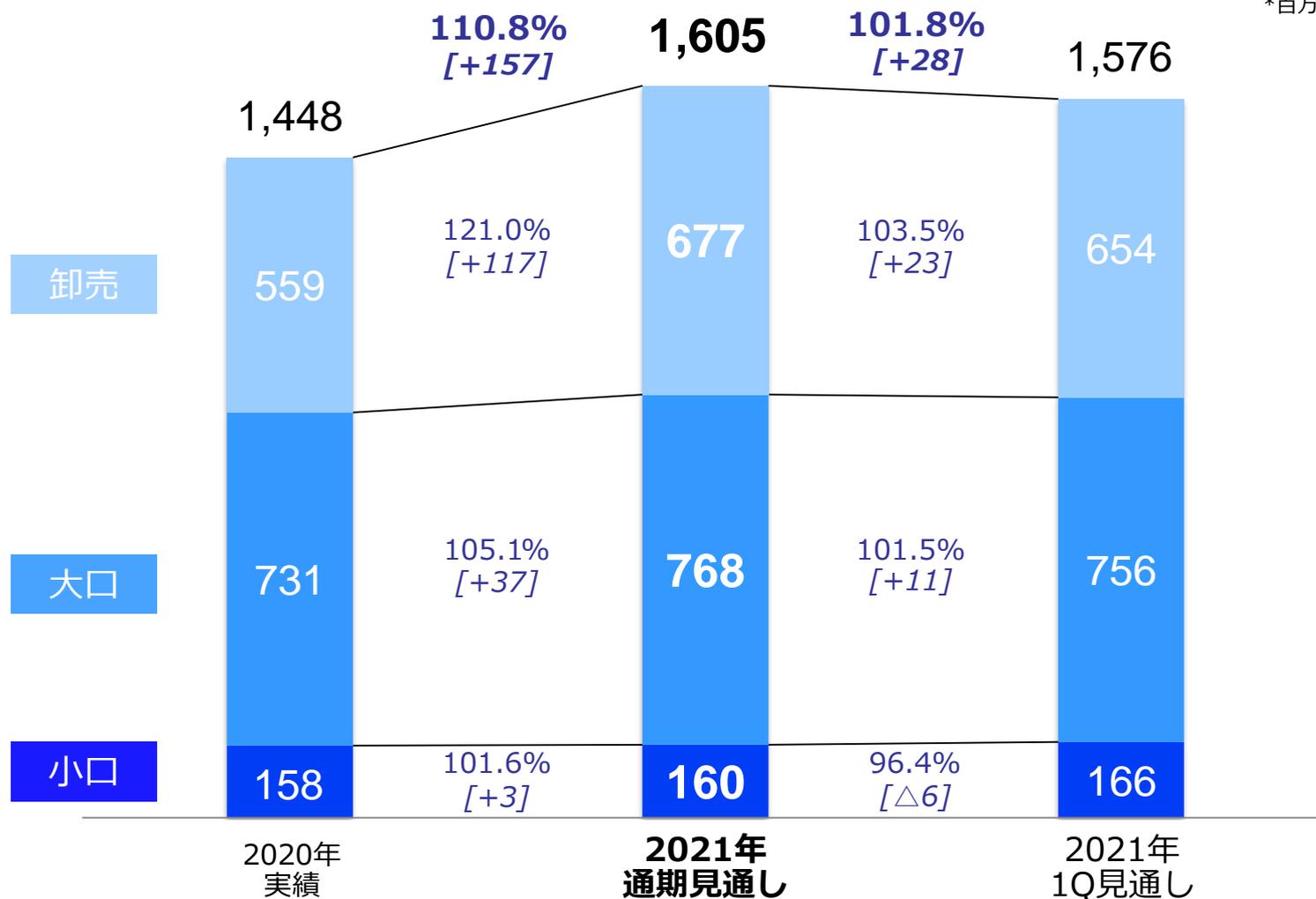
# ガス販売量見通し 個別



単位：百万m<sup>3</sup>(45MJ)

\*[ ]内は、販売量増減(百万m<sup>3</sup>)を表示

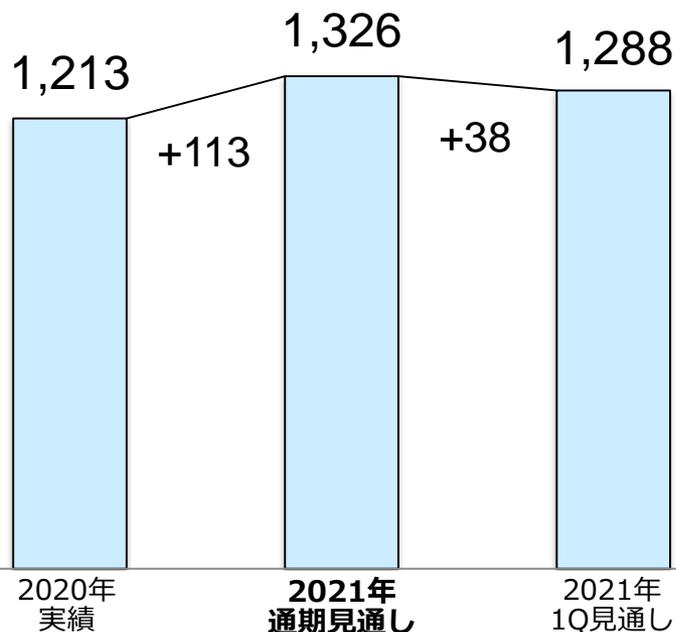
\*百万m<sup>3</sup>未満四捨五入



# 売上高/営業利益見通し

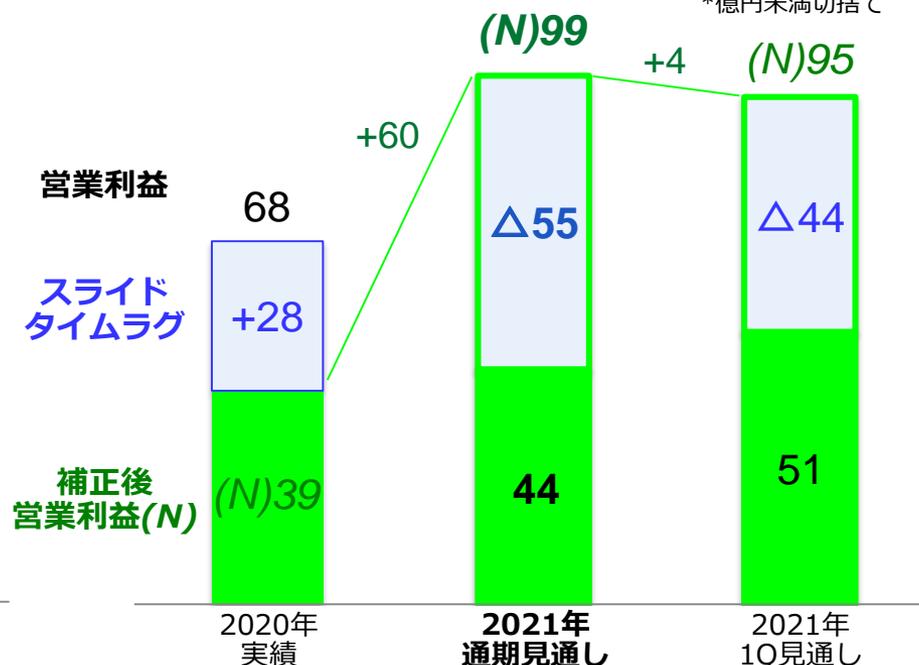
## 売上高

単位：億円  
\*億円未満切捨て



## 営業利益・スライドタイムラグ

単位：億円  
\*億円未満切捨て



	2021年 1~6月実績	2021年 7月想定	2021年 8~12月想定
為替レート (円/\$)	107.1	110.7	110.0
原油価格 CIF (JCC) (\$/bbl)	61.6	77.0	75.0

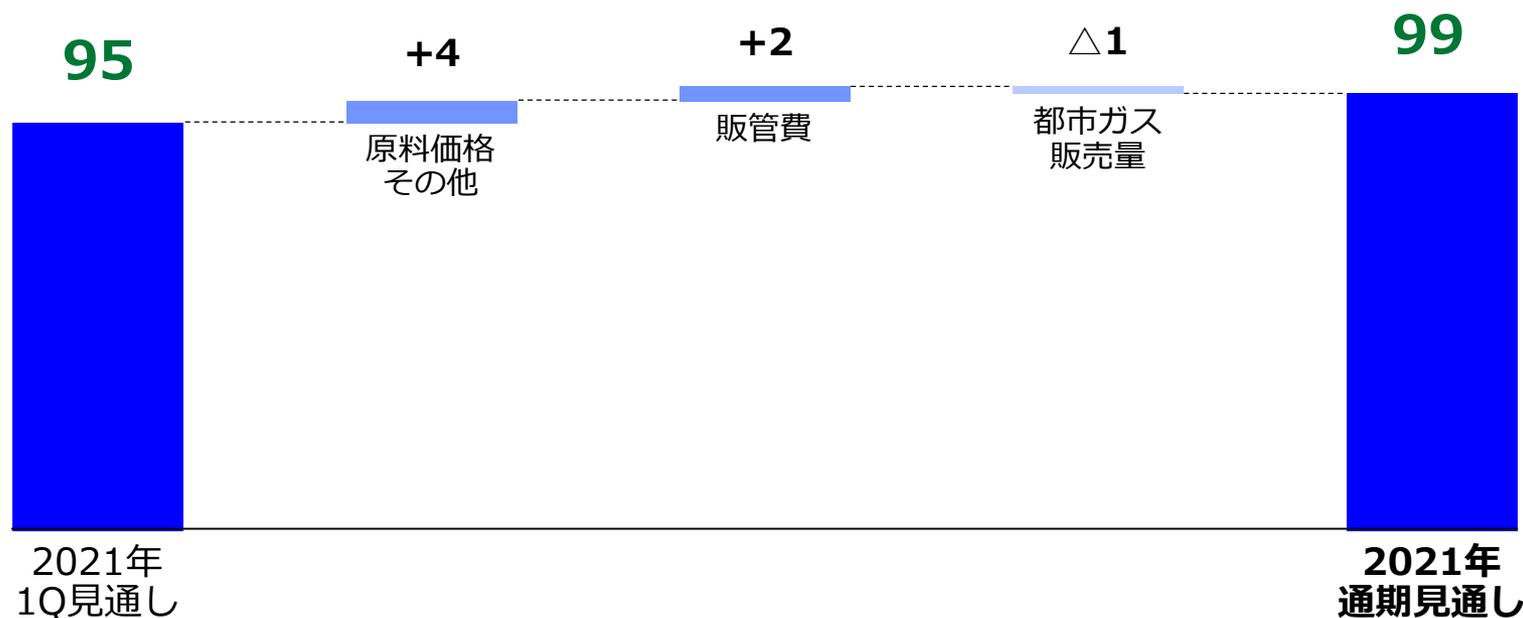
粗利影響感度 (8月以降)	
(+) 1円/\$	△1.2億円
(+) 1\$/bbl	△0.8億円

# 営業利益見通しの分析（対1Q見通し）



単位：億円  
\*億円未満切捨て

	2021年 1Q見通し	2021年 通期見通し	増減
<b>補正後営業利益</b>	<b>95</b>	<b>99</b>	<b>+4</b>
営業利益	51	44	△7
スライドタイムラグ	△44	△55	△11



## Ⅲ. 静岡ガスグループ

# 2050年カーボンニュートラルビジョン

---

# カーボンニュートラルビジョン

## お客さま・地域とともに2050年カーボンニュートラル実現へ

静岡県は豊かな自然に恵まれ、食品や製紙をはじめとする様々な産業を擁する地域です。私たち静岡ガスグループは地域の特性を活かしつつ、お客さま・地域とともに2050年カーボンニュートラルにチャレンジします。また、そのノウハウを東南アジア地域を中心とする海外へも展開し、それぞれの地域の課題解決にも貢献していきます。

### 地域の特性

#### ①豊かな自然

- ・豊富な森林資源（県土の約65%が森林）
- ・地下水など豊富な水資源
- ・伊豆半島ジオパーク
- ・温暖な気候 → 環境や森林を保全

#### ②多様な産業

- ・熱多消費型産業が集積  
製紙産業、飲料産業  
(出荷量全国1位) 等 → 熱需要が大きい

#### ③身近で強靱なインフラ

- ・地域密着の都市ガス会社
- ・大都市圏とつながっている高圧ガスパイプライン
- ・ガスパイプライン耐震化率100%へ

→ レジリエントで生活しやすい地域の実現

・環境や森林資源の保全  
・森林によるCO<sub>2</sub>吸収の面からも  
カーボンニュートラル社会の実現  
に貢献

・熱需要を背景としたコージェネ  
レーションシステムの普及  
・分散型エネルギーシステムにより  
地域の再生可能エネルギーを最大  
限活用



森林資源



富士の製紙産業



長期パートナーシップ協定



清水LNG(株)袖師基地

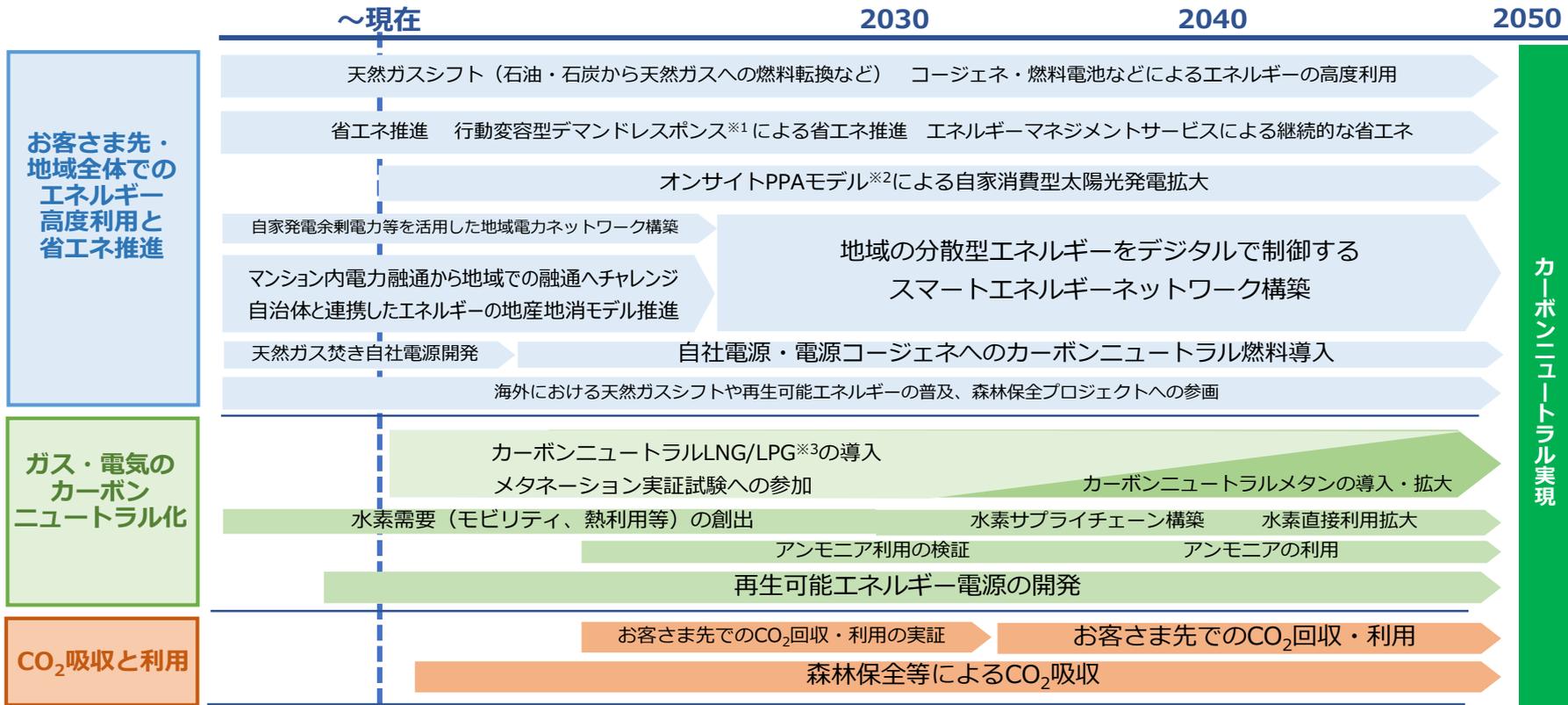


さらに、ノウハウを東南アジア地域  
を中心とする海外へも展開  
(海外事業)

# カーボンニュートラルビジョン

## カーボンニュートラルに向けたロードマップ

お客さまとともに低炭素化の取り組みを加速させ、さらにカーボンニュートラルメタンや水素、アンモニアの利用にチャレンジします。また、再生可能エネルギー電源の開発や森林保全によるCO<sub>2</sub>吸収も併せて推進し、2050年のカーボンニュートラル実現を目指します。



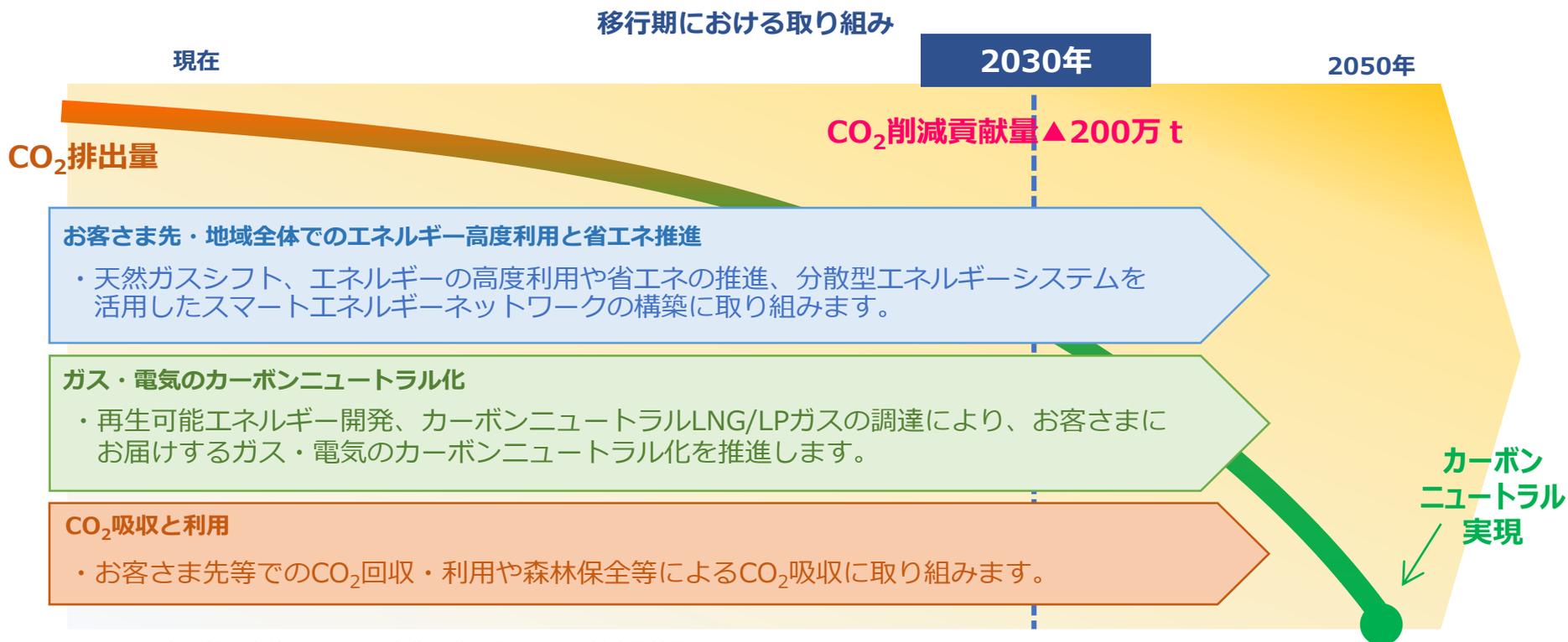
※1 お客さまの自発的な節電行動 (行動変容) を促し、電力需要の抑制を目指す取り組み ※2 事業者の費用によりお客さまの敷地内に太陽光発電設備を設置し、発電された電気をお客さまに供給する仕組み

※3 採掘から燃焼に至るまでの工程で発生する温室効果ガスを森林の再生支援などによるCO<sub>2</sub>削減分で相殺したLNG/LPG

# カーボンニュートラルビジョン

## 2030年 CO<sub>2</sub>排出量200万 t ※削減に挑戦

革新的技術が実用化されるまでの移行期においては、徹底したCO<sub>2</sub>の削減が重要であります。静岡ガスグループでは、様々な取り組みにより2030年までにCO<sub>2</sub>の削減に貢献します。



※ 2021年以降の当社グループの事業活動を通じたCO<sub>2</sub>削減貢献量

# カーボンニュートラルビジョン

## お客さま先・地域全体でのエネルギー高度利用と省エネ推進

### お客さま先の低炭素化

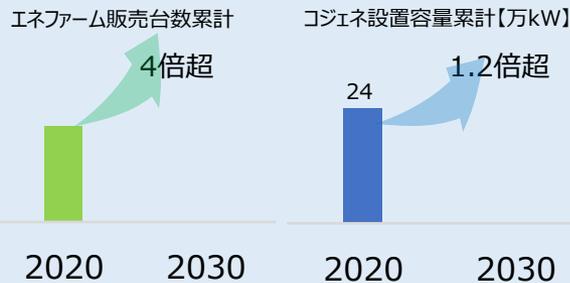
#### 天然ガスシフト

1996年の天然ガス導入以降、天然ガスシフトにより2020年までに約80万tのCO<sub>2</sub>削減に貢献



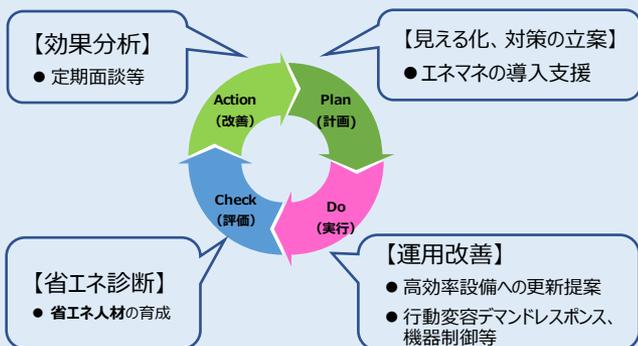
#### エネルギー高度利用の推進

エネファーム（家庭用）、コージェネ（工業用・業務用）高効率空調（ガスヒートポンプ・吸収式冷温水機）等の普及促進



#### 省エネの推進

行動変容型デマンドレスポンスなどの活用による省エネの推進



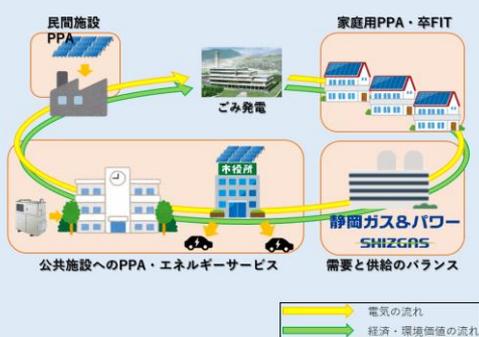
### スマートエネルギーネットワークの構築 分散型エネルギーシステム

■ マンション内電力融通システム  
「T-グリッドシステム※」



シャリ江長泉

■ 地域と連携した地産地消モデルの例



先ずは、**地域単位**で実現し、**地域間**での活用に拡大

※ 電力の一括受電とエネファームを組合せ、マンション内で電力の融通を行う技術で、更なる省エネとCO<sub>2</sub>削減を可能とし、外部からの電力購入量を大きく低減する。

### 海外での取組み

世界全体での低・脱炭素化に貢献

< 既往の取り組み >

- タイ  
天然ガス発電事業  
太陽光発電事業



- インドネシア  
ガスエネルギー事業

< 将来 >

- ・天然ガスシフトの推進
- ・再生可能エネルギー容量、電源種の拡大
- ・森林保全プロジェクト

二国間クレジット制度※の活用によるCO<sub>2</sub>削減貢献

※ 日本企業が優れた脱炭素技術等を活用し、開発途上国における温室効果ガス排出量を削減する事業を実施し、削減の成果を両国で分け合う制度

# カーボンニュートラルビジョン

## ガス・電気のカーボンニュートラル化／CO<sub>2</sub>吸収と利用

### 水素・アンモニア利用、メタネーションへのチャレンジ

#### ● 水素・アンモニア利用の拡大

<現状>



水素ステーション静岡

<将来>

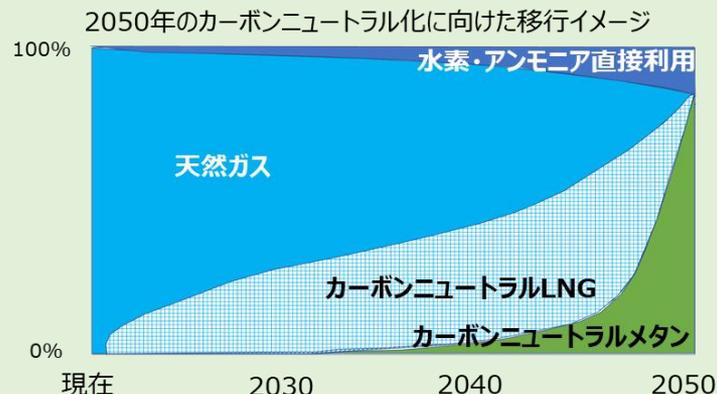
コージェネ、燃料電池、  
工業炉等での直接利用



#### ● メタネーション

水素とCO<sub>2</sub>からメタンを生成するメタネーション技術の実証

#### ● 移行期におけるカーボンニュートラルLNGの活用



### 再生可能エネルギーの開発

太陽光、バイオマス、PPAモデル（第三者所有）を中心とした再生可能エネルギー電源の開発

再生可能エネルギー容量※1  
(国内外)

20万kW



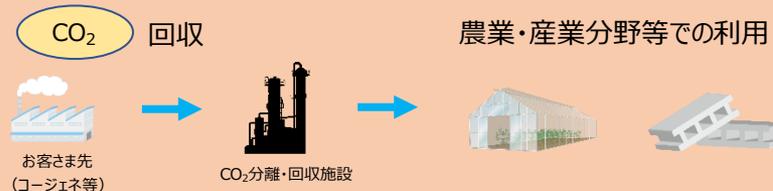
2021

2030

※1 FIT電源、調達を含む

### CO<sub>2</sub>回収・利用および森林保全

#### ● お客さま先等でのCO<sub>2</sub>回収・利用



#### ● 森林保全によるCO<sub>2</sub>吸収



## IV. トピックス

---

# 成長に向けた取組み

## 国内外の再エネを始めとした成長投資と天然ガスインフラの強靱化投資

### 国内の取組み

鳥海南バイオマスパワー株式会社※1

- ✓ 出力規模（計画）52,900kW
- ✓ 主な燃料：輸入木質ペレット等



### 海外の取組み

● タイ国での取組み

「大学におけるPV-PPA(第三者所有モデル)」



ラーチャバット・マハサーラカム大学

- ✓ 20年間の売買契約
- ✓ 発電出力 2,139kWp
- ✓ 年間予測発電量 約270万kWh
- ✓ 環境省「令和2年度二国間クレジット制度（JCM）資金支援事業のうち設備補助事業」採択案件



静岡県内

- ・PV-PPA(第三者所有モデル)
- ・事業用太陽光、営農型太陽光発電（ソーラーシェアリング）計20件超



東松山バイオマス発電合同会社※2

- ✓ 出力規模（計画）1,990kW
- ✓ 主な燃料：剪定枝



### 天然ガスインフラの強靱化

- 高圧パイプライン強靱化工事
- LNG基地強靱化工事



高圧幹線「架管部補強工事」



袖師基地「側方流動対策工事」

※1.東北電力株式会社、株式会社オリンピアとの合同出資

※2.三菱地所株式会社、プロスペックAZ株式会社との合同出資

# お客さま、地域とのつながり

## お客さまとのつながりの場と、レジリエンス性・省エネ性を備えた新富士支社

- 富士地区のランドマークとして、お客さまとのつながりを創出
  - ✓ 「エネリア食堂」
    - ・ 飲食店の起業を目指す方へのお試しキッチンのご提供
    - ・ 地域の飲食店の販売促進イベント等の開催
  - ✓ 様々なイベントが開催可能な新ショールーム
- 複数の分散型電源（PV、蓄電池、燃料電池、都市ガス焼き発電、EV）と省エネ機器
  - ✓ 将来のDR（デマンドレスポンス）、面的制御に向けたノウハウを蓄積
  - ✓ 安定供給、業務継続が可能な高いレジリエンス性
  - ✓ 供給エリア内初の「ハイブリット空調（スマートマルチGHP※）」
  - ✓ 上記取組みを地域やパートナー企業等へ情報発信し、地域の低・脱炭素をリード

※.ガス空調(GHP)と電気空調(EHP)を組み合わせた空調システム。最適制御により、省エネ・省コストを実現する。
- 多様な働き方ができるワーキングスペース



◆ EV電源は再エネ電源を最大限活用



◆ PV、ハイブリット空調、自立発電GHP



◆ 生産性を高めるオフィス



◆ 富士支社新社屋



◆ 「エネリア食堂」